



赤い羽根  
福祉基金



赤い羽根NPO活動  
サポート募金



赤い羽根福祉基金

社会福祉法人中央共同募金会

# 「赤い羽根 社会貢献セミナー2024」

企業とNPOのそれぞれの強みを活かした協働による被災地支援  
～それぞれの仕掛けや取組み背景を掘り下げる～

**2024年12月23日（月） 14:30～17:00**

新霞が関ビル5階（東京都千代田区） 全社協第3～5会議室

※対面&オンライン併用ハイブリッド開催



赤い羽根  
福祉基金

2024 年は、1 月 1 日の能登半島地震に始まり、7 月の東北での大雨災害、8 月の日向灘地震、さらに奥能登豪雨災害など、多くの災害に遭遇した年となりました。

世界的な気候変動の影響もあり、地震や台風だけではなく、近年は線状降水帯の発生に伴う集中豪雨による水害も各地で頻発しています。災害は、被災地域に人的、物理的な損害を与えるとともに、貧困や経済格差、孤立などの様々な社会的課題も顕在化させる契機になっています。

一方で、発災時には多くの企業やNPOが、それぞれ立場で被災地支援に動いており、能登半島地震の被災地においても、顕在化した様々な社会的課題に対応すべく両者の協働事例が多く見られました。また、災害による死者や被災者数を大幅に削減させることは、「国連の持続可能な開発目標（SDGs）」にも含まれる達成目標の一つであり、特に近年大規模な災害に見舞われている日本においては避けて通れない問題であることを踏まえ、より一層、それぞれの強みを活かした協働による被災地支援の取組みが求められています。

本「赤い羽根 社会貢献セミナー2024」では、能登半島地震の被災地での協働事例や支援の取組み事例をもとに、今後の被災地支援のあり方やより良い協働について考える契機といたします。



14:30 開 会

挨拶

ふるいち

古都 賢一（中央共同募金会 副会長）

14:40 共同募金会の助成プログラムについて（情報提供）

山内 秀一郎（中央共同募金会 基金事業部長）

14:50 基調講演「能登半島の被災者・被災地支援を通じてみた企業の力」

正木 義久 氏

（一般社団法人日本経済団体連合会 ソーシャル・コミュニケーション本部長）

15:20 休憩・舞台転換（15:25まで）



15:25 パネル・ディスカッション

「企業とNPOのそれぞれの強みを活かした協働による被災地支援」  
～それぞれの仕掛けや取組み背景を掘り下げる～

☆コーディネーター

**金田 晃一 氏**

(株式会社N T Tデータグループ

サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト)

☆事例報告者

**東井 孝允 氏** (穴水町甲復興団 団長)

**肥田 浩 氏** (一般社団法人OPEN JAPAN 理事)

**東郷 琴子 氏** (パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社  
企業市民活動推進部 ソーシャルアクション推進課長)

**外間 孝次 氏** (一般財団法人H2Oサンタ 事務局長)

※阪急・阪神百貨店をはじめとするエイチ・ツー・オー リテイリング  
グループの社会貢献団体

16:55 閉会 挨拶 阿部 陽一郎 (中央共同募金会 常務理事)



# 登壇者プロフィール

<p>まさき よしひさ  <b>正木 義久 氏</b>          一般社団法人          日本経済団体連合会</p>	<p>◆ソーシャル・コミュニケーション本部長          経済界と投資家や消費者との対話、モビリティ、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンの推進、そして防災など危機管理・社会基盤強化、災害復興などととともに社会貢献を担当しています。経団連1%クラブ主催の障がい者施設のボランティア体験に誘って一緒に行った女性と、先日結婚30周年を迎えました。</p>
<p>かねだ こういち  <b>金田 晃一 氏</b>          株式会社NTTデータグループ</p>	<p>◆サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト          ソニー渉外部通商政策課、米国大使館経済部、ブルームバーグTVアナウンサーを経て、1999年より、ソニー（再入社）、大和証券グループ本社、武田薬品工業、ANAホールディングス、NTTデータの5社にて、サステナビリティの経営統合に携わる他、NGO/NPOと約40の協働プログラムを立ち上げる。英国レディング大学大学院修士課程修了（多国籍企業論）。</p>
<p>とうい たかみつ  <b>東井 孝允 氏</b>          穴水町甲復興団</p>	<p>◆団長          石川県穴水町生まれ。株式会社メディアジーン（Business Insider JapanやギズモードなどのWebメディアを運営）に勤務し、事業開発を担当。2024年元日、帰省中に能登半島地震被災。2024年4月、同じ出身者らと穴水町甲復興団を設立。現在、月1回穴水町甲地区に通い、コミュニティ再生支援など中長期の復興活動を行う。</p>



<p>ひだ ひろし 肥田 浩 氏 一般社団法人 OPEN JAPAN</p>	<p>◆理事 2011年3月東日本大震災で自身の誕生日に地元・東北が被災。現地石巻で活動している仲間からの要請もあり現地入りし、被災した神社の復旧作業などを行い祭りプロジェクトを行った。被災地の車中泊は3000日を超える。被災地では災害支援団代間の調整や、行政・社協との連携を図りながら被災された住民さんの心に寄り添う。JVOADの技術委員会にも所属し、平時からの減災活動にも取り組む。トレードマークは、頭の手ぬぐい。</p>
<p>とうごう ことこ 東郷 琴子 氏 パナソニック オペレーショナル エクセレンス株式会社</p>	<p>◆企業市民活動推進部 ソーシャルアクション推進課長 1999年よりパナソニックグループの企業市民活動を担当。「社会福祉」「環境」分野の担当を経て「NPO/NGO支援」に長年取り組む。現在は、誰もが生き活きとくらすサステナブルな共生社会の実現に向けて、「貧困の解消」「環境」「学び支援」を重点テーマに、ステークホルダーの皆さんと協働して社会課題解決に資する取り組みを推進中。</p>
<p>そとま こうじ 外間 孝次 氏 一般財団法人H2Oサンタ</p>	<p>◆事務局長 ◆エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 部長 1993年、阪急百貨店（現 阪急阪神百貨店）入社。スポーツ部門担当時の2004年、シカゴマラソン視察で社会貢献活動に興味を持ち、2012年に社内公募でチャリティー企画部へ異動。2018年から一般財団法人H2Oサンタ事務局長を兼務。阪急うめだ本店だけでなく、万博公園でのロハスフェスタや百貨店支店、スーパー等へ活動の幅を広げている。</p>



- 資料1 共同募金会の寄付・助成プログラムについて
- 資料2 基調講演資料「能登半島の被災者・被災地支援を通じてみた企業のカ」
- 資料3 パネル・ディスカッション資料
  - 資料3-① 穴水町甲復興団の取組み
  - 資料3-② OPEN JAPAN 令和6年能登半島沖地震活動報告書
  - 資料3-③ パナソニックグループの災害支援の取組み
  - 資料3-④ H2Oサンタの取組み
- 資料4 事例報告から見る連携事例リスト

## ■資料

本セミナーに係る資料はこちらから取得してください。

<https://www.akaihane.or.jp/?p=39024&preview=true>

(パスワードは hane1223 です)

■本セミナーに関するコンテンツの録画・撮影・録音・複製・転載・転用、その他二次利用等は禁じます。

## ■アンケートへのご協力をお願いします

・報告会終了後にアンケートが表示されますので、ご協力ください。

<https://tayori.com/s/semi202412/>



お問合せ先：社会福祉法人中央共同募金会  
基金事業部（セミナー担当）

kikin@c.akaihane.or.jp 電話03-3581-3846